

# 基礎 文の成り立ち



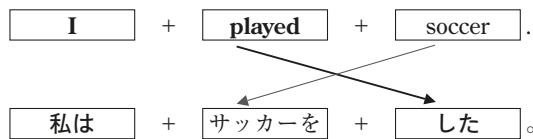
参考書 pp.14–20

## A 文の要素

**主語と動詞** 主語(S)は日本語の「～は」「～が」にあたり、動詞(V)(述語動詞と呼ばれることがある)は日本語の「～です」「～する」にあたる。主語はS、動詞はVで表す。(Subject: 主語, Verb: 動詞)

**英語の語順** 英語の語順は〈主語(S)+動詞(V)+α〉が基本となる。英語では「主語」が文の最初に置かれ、そのすぐ後に「動詞」、その後に「α」がくる。日本語の語順は〈主語+α+動詞〉が基本なので、「動詞」が出てくる順序が英語とは逆になる。

[英語] 主語 [誰が] + 動詞 [どうした] + α [何を]



[日本語] 主語 [誰が] + α [何を] + 動詞 [どうした]

## B 句と節

**句と節** 句は〈主語+動詞〉を含まない語のまとまりで、節は〈主語+動詞〉を含む語のまとまりをいう。句と節にはそれぞれ、名詞・形容詞・副詞の働きをするものがある。

**名詞句と名詞節** 名詞句と名詞節は名詞の働きをする。文の中で主語・補語・目的語・前置詞の目的語になる。

I know Mike. (私はマイクを知っています。)  
名詞

I know how to play the guitar. (私はギターの弾き方を知っています。)  
名詞句

I know that Jim is honest. (私はジムが正直だということを知っています。)  
名詞節

**形容詞句と形容詞節** 形容詞句と形容詞節は形容詞の働きをする。名詞・代名詞を後ろから修飾する。

I read a short story. (私は短い物語を読んだ。)  
形容詞 ↓ 名詞

I read a story written in English. (私は英語で書かれた物語を読んだ。)  
形容詞句 ↓

I read a story which Meg wrote. (私はメグが書いた物語を読んだ。)  
形容詞節  
↑ S V

**副詞句と副詞節** 副詞句と副詞節は副詞の働きをする。動詞や形容詞、他の副詞、文全体を修飾する。

She ate lunch quickly. (彼女は急いで昼食を食べた。)  
動詞 ↑ 副詞

She ate lunch in the cafeteria. (彼女は食堂で昼食を食べた。)  
副詞句 ↓

She ate lunch after she cleaned her room. (彼女は部屋を掃除した後、昼食を食べた。)  
↑ S V 副詞節

## ●英語の品詞の種類と働き

品 詞	説 明
名 詞	<p>人・物・事の名前を表す語。文の中で主語・目的語・補語になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The boy was kicking a ball. (その少年はボールを蹴っていた。)</li> <li>She is an artist. (彼女は芸術家だ。)</li> </ul>
冠 詞	<p>名詞の前に置かれる語。a/an と the の 2 種類がある。a/an(1つの～)は初めて話題に出る数えられる名詞の前に、the(その～)は前に出てきた名詞や特定できる名詞の前に置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I had a hamburger for lunch. (私は昼食にハンバーガーを食べた。) 初めて話題に出る名詞</li> <li>The hamburger was very good. (そのハンバーガーはとてもおいしかった。) 前に出てきた名詞</li> </ul>
代名詞	<p>名詞の代わりをする語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>We know him. (私たちは彼を知っている。)</li> </ul>
動 詞	<p>主語の動作や状態を表す語。be 動詞と一般動詞があり、どちらにも原形・現在形・過去形などの活用がある。</p> <p>● be 動詞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I am a high school student. (私は高校生です。)</li> </ul> <p>●一般動詞(be 動詞以外の動詞)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I go to school by bus. (私はバスで学校に通っています。)</li> </ul>
助動詞	<p>動詞の前に置かれ、話し手の気持ちや判断を付け加える語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>She can speak French. (彼女はフランス語を話すことができる。)</li> </ul>
形容詞	<p>人・物・事の性質や状態などを表す語。名詞を修飾する場合と、補語として主語・目的語の性質や状態を説明する場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>He gave her some beautiful flowers. (彼は彼女に美しい花をあげた。)</li> <li>The flowers are beautiful. (その花は美しい。)</li> </ul>
副 詞	<p>動詞・形容詞・副詞などを修飾して、程度・頻度・様子・時・場所などを表す語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>He spoke very slowly. (彼はとてもゆっくり話した。)</li> <li>I met Mr. Brown yesterday. (私は昨日、ブラウンさんに会った。)</li> </ul>
前置詞	<p>名詞・代名詞などの前に置かれ、それらの語と共に形容詞や副詞の働きをする語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The coat on the chair is mine. (いすの上のコートは私のです。)           <p style="text-align: center;">↑ 形容詞の働き(名詞を修飾)</p> </li> <li>He put the book on the table. (彼はテーブルの上にその本を置いた。)           <p style="text-align: center;">↑ 副詞の働き(動詞を修飾)</p> </li> </ul>
接続詞	<p>語と語、句と句、節と節などを結びつける語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lisa and Meg are in the same class. (リサとメグは同じクラスです。)           <p style="text-align: center;">語 語</p> </li> <li>I went to bed because I was tired. (疲れていたので私は寝た。)           <p style="text-align: center;">節 節</p> </li> </ul>
間投詞	<p>驚き・感動・喜び・悲しみ・怒りなどの感情や、呼びかけなどを表す語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Oh, I'm sorry. (ああ、ごめんなさい。) ほかに、ah, hi, wow, oops など。</li> </ul>



## A 平叙文(肯定文と否定文)

Focus 001

- ◆ 1. a. I **am** a student. b. I'm **not** a student.
- ◆ 2. a. I **play** tennis. b. I **don't play** tennis.
- ◆ 3. a. He **can play** the flute. b. He **can't play** the flute.

平叙文は、物事をありのまま述べる文で、〈主語(S) + 動詞(V)…〉の語順になる。

1. **be** 動詞の否定文は、〈**be** 動詞 + **not**〉の語順になる。
2. 一般動詞の否定文は、〈**do/does/did + not + 動詞の原形**〉の語順になる。

**注意** 一般動詞の平叙文は主語が3人称単数で時制が現在のときは、動詞に-s, -esを付ける(⇒参)付録▶[2])。

My father **plays** golf. → My father **doesn't** play golf.

3. 助動詞のある否定文は、〈助動詞 + **not** + 動詞の原形〉の語順になる。

## B 疑問文

Focus 002,003

- ◆ 4. “**Is he** a student?” “Yes, he is.” / “No, he isn't.” <**be** 動詞 + 主語 …?>
- ◆ 5. “**Do you play** tennis?” “Yes, I do.” / “No, I don't.” <**Do/Does/Did + 主語 + 動詞の原形 …?**>
- ◆ 6. “**What** did you buy?” “I bought a T-shirt.” <疑問詞 + Yes/No 疑問文 …?>
- ◆ 7. “**Who** plays the hero?” “Mike does.” <疑問詞 (S) + 動詞 (V) …?>

4. 5. YesかNoで答えることのできる疑問文を **Yes/No 疑問文** という。

6. 7. 「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などの内容を尋ねるときは、when, where, who, whatなどの疑問詞で始まる疑問文にする。

6. 尋ねたい事柄を疑問詞にして文頭に置き、その後は Yes/No 疑問文と同じ語順になる。

7. 疑問詞が主語の場合、主語を疑問詞に置きかえて、〈**疑問詞 (S) + 動詞 (V) …?**〉の語順になる。疑問詞は普通、单数扱い。

## C 命令文・感嘆文

Focus 005,006

- ◆ 8. **Be** careful.
- ◆ 9. **Don't** touch the paintings.
- 10. **How beautiful** this house is!
- 11. **What a beautiful house** this is!

8. 9. 命令文は、相手に命令したり行動を求めたりする文。相手に直接言うため、普通は主語を付けない。

8. 肯定の命令文は「～しなさい」という意味を表す。**動詞の原形**で文を始める。

9. 否定の命令文は「～してはいけません」という意味を表す。〈**Don't [Do not] + 動詞の原形 …?**〉の語順になる。

**注意** 〈**Let's + 動詞の原形**〉は「(一緒に) ～しましょう」という勧誘や提案を表す表現。

“**Let's** go shopping.”

答えるときは Yes, let's. や No, let's not. と答えるが、OK./Sure.(いいですよ。) や Sorry, I can't.(ごめんなさい。できません。)などと答えることが多い。

10. 11. 感嘆文は、「なんて～なのだろう」という感動・驚き・喜び・残念な気持ちなどの強い感情を表す文。

10. 形容詞や副詞を強調するときは、〈**How + 形容詞 [副詞] (+ 主語 + 動詞) !**〉の語順になる。

11. 〈形容詞 + 名詞〉を強調するときは、〈**What + (a/an) + 形容詞 + 名詞 (+ 主語 + 動詞) !**〉の語順になる。

# Exercises

## Lesson 1

1 各文を、肯定文は否定文に、否定文は肯定文に書きかえなさい。 A

- 1) She is a good soccer player.

---

- 2) I practice the guitar on Wednesdays and Saturdays.

---

- 3) My brother didn't study hard last night.

---

- 4) His sister doesn't speak Chinese.

---

- 5) My friends can arrive in Tokyo tomorrow.

---

2 日本語に合うように、( )に適切な語を入れなさい。 B

- 1) あなたは外国の文化に興味がありますか。  
(                ) (                ) interested in foreign cultures?
- 2) あなたの弟は毎朝早く起きますか。  
(                ) your brother (                ) up early every morning?
- 3) ジーンは明日、パーティーに来るできますか。  
(                ) Jane (                ) to the party tomorrow?

3 下線部が答えの中心となる疑問文を作りなさい。 B

- 1) He wrote a long letter to his aunt.

---

- 2) Bill walks with his dog in the park.

---

- 3) His sister was born in 2008.

---

- 4) Goro broke this window yesterday.

---

4 日本語に合うように、( )内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。 C

- 1) この道に沿って歩いてください。  
( this / along / walk / street ).
- 2) 授業に遅れないでください。  
( late / be / the class / for / don't ).
- 3) これはなんて高い木なのでしょう。  
( a / tree / what / tall ) this is!

this is!